



# 平成16年度 教育行政執行方針

## 生きる力を育む学校教育 いつでも、どこでも学べる生涯学習

### 教育行政の基本姿勢

平成16年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げ、町議会並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新しい世紀を歩む今日、国際化、情報化、少子・高齢化など社会環境は、様々な面で変化をたどっているところであり、一方、教育の分野におきましても、「教育基本法」の改正や義務教育費国庫負担制度の見直し論議されており、改革の流れが高まってきております。

また、市町村にとりましては、地方分権のもと、国の構造改革に対処した、行財政運営が強く求められているところから、本町においては、選択肢の一つとして占冠村との合併協議がなされているところでもあります。

このように、社会情勢の変化は、地域社会のあり方や教育のあり方に極めて大きな影響を与えるものと思えますので、社会の変化や教育の今日的課題を的確に把握するとともに、こうした改革の時代にあっても、主体的に生きていくことのできる個性豊かな人材を育てていくことが大切であり、更に、子供から大人まで全ての町民一人ひとりが、生涯の各期にわたって、健康で充実した生活を送ることができるよう生涯学習の推進が求められております。

### 学校教育の推進

はじめに、学校教育の推進であります。小中学校における完全学校週5日制のもと、新学習指導要領に基づいた教育課程の全面实施から2年目を経て、より子ども達に基礎・基本の徹底と、それを基にした生きる力の育成を目指して、それぞれ学校の実態に即した学習指導に教職員一人ひとりが取り組んでいますので、引き続き支援してまいります。

しかしながら、全国的な調査により、子ども達に判断力や表現力が十分に身に付いていないことが指摘されており、指導の工夫改善はもろろんのこと、自然体験、社会体験、生活体験など、学びを支える体験の充実に努めてまいります。

化や凶悪化などが大きな社会問題となっていることから、教師と子ども達の心のふれあいを通して、善悪の判断や社会のルールを守るという基本的な規範意識や倫理観、そして公共心や他人への思いやる心など、子ども達の心に響く道徳教育を進めます。

また、児童生徒の健康と安全教育についても、各教科との関連の中で意識の向上に取り組みむとともに、学校の安全管理にも配慮してまいります。特に、子ども達を育むうえで、家庭や地域の役割は重要であり、また、地域に開かれ親しまれる学校づくりに配慮いたします。

小規模複式校については、地域の支援のもと、特色ある教育活動が展開されておりますので、引き続き一人ひとりを大切にした教育を進めるとともに、多人数での実践のため集合学習、合同学習、交流学习に取り組みます。

国際化の進展に伴う英語教育につきましては、基礎的な語学力の向上と、諸外国の生活や文化などを理解する教育の推進のため、従来の指導助手の契約期間が本年の8月をもって終わることから、新たな指導助手の招致に努めます。

かねてより、遠距離からの通学緩和の措置として通学費の助成を行っているところですが、通学路の条件整備等に伴いまして、助成基準の見直しを行うこととしておりますので、ご理解願います。

### 学校給食

学校給食は、児童生徒の健康に重要な役割を担う

長い間、議論をいただいたおりました中学校の統廃合につきましては、南富良野町立中学校統廃合推進協議会のもと、平成17年4月新設中学校開校に向けて、教育計画や校章・校歌の制定、更に通学条件や現在校の閉校措置など、様々な課題の整備に取り組んでおりますが、通学の足となりますスクールバスにつきましては、一台増車を図ることから購入費と車庫建設の予算を計上いたしました。



高等学校のカヌー授業

小中学校における教育施設の整備ですが、本年度は、町の予算編成方針に基づき、骨格予算を基本として、教育に支障を来さないよう所要の予算措置をいたしました。

### 高等学校

次に、南富良野高等学校についてであります。本校は、小さな学校の大きな教育活動を目指し、ゆとりある教育環境のもと、地域の特色を生かした教育実践に取り組んでいるところであります。

しかしながら、過疎化・少子化による生徒数の減少の

ほか、学校選択の多様化のため、安定した生徒確保に極めて困難を来している状況にありますが、更に、平成17年度の高等学校入学から通学区域が大幅に拡大されることとなりますので、ますますその傾向が強まるものと苦慮しているところです。このため、生徒や保護者そして地域から期待される信頼される学校づくりが急務でありますので、中学校と高等学校との連携をはじめとし、関係機関と一体となった課題解決に努めてまいります。

国際理解教育として進めておりました国際交流派遣事業は、派遣先の事情等により中止せざるを得ない結果となりましたが、生徒達が、国際理解と語学力を身につける体験は貴重であると判断しまして、派遣シスチームの検討を進め、国際交流事業に実績のあるNPO団体のプログラムを活用した派遣事業を組み入れることとして、本年度はカナダに派遣すべく予算措置をするとともに、本校の特色で



### 学校給食

健康に重要な役割を担う

から購入費と車庫建設の予算を計上いたしました。

もあり、全道唯一、部活動をしておりますカヌー部の全国大会出場についても支援してまいります。

また、富良野市立樹海中学校からの生徒の足として運行しております通学自動車について、乗降箇所の変更が考えられますので、そ

## 社会教育の推進

次に、社会教育の推進であります。今日、生涯学習の意義が浸透する中で、自らの時間を活用し、自ら欲して生きがいや楽しさを求めて、学習し続けようとする気運がますます高まってきております。

このような声や意欲に応え、学びたい人が学び続けよう生涯学習の原点であります。いつでも、どこでも、誰でも」を基本として、関係機関や団体との連携を深め、生涯学習の環境づくりに配慮してまいります。

また、行財政改革の一環として、教育委員会が

れに対応することとして条例の改正をすることにも、高等学校や大学等への奨学資金の貸付についても、社会経済の変遷の中、授業料の上昇や学業に要する経費を考慮しまして貸付金の見直しをすべく条例の改正と所要の予算を計上しました。

所管します公民館や体育施設について、使用料の改定を行うとともに、管理についても委託内容の見直しを進め、特に北落合分館は、地域の理解のもと、地域に管理を委ねるべく予算措置をするとともに、金山地区コミュニティセンターの利便性を図ることから、駐車場の造成に係る予算も計上しました。

### 家庭教育

家庭教育についてであります。核家族化や少子化傾向が顕著になる中、家庭における教育力の低下が叫



ばれ、社会教育の領域においても家庭教育は大きな課題となつてきているところから子育てのための学習機会や情報交換の場の提供に努めてまいります。

### 青少年の健全育成

また、青少年の健全育成であります。依然として非行や犯罪など青少年をめぐる問題が深刻になっていきます。このような青少年の社会的問題は、親や大人の言動や姿勢、社会のあり方が大きく反映していると言われております。青少年は地域から育む」という視点に立つて、学校・家庭・地域の連携のもと、自然や

人々とのふれあいなど様々な体験の場の提供を進めてまいります。

### 本部町との交流

また、友好の町、沖縄県本部町との親善交流事業につきましては、行財政改革の中ではありますが、北と南の子どもの友情の輪の拡大と風土・歴史・文化の違いを自ら体験することは、極めて貴重であると考えまして引き続き実施いたします。

### 成人教育

成人教育であります。この世代は、家庭・職場・地域社会において中心的な役割を担い、社会的にもその責任を負わされている世代であり、また少子化の中、サークルやボランティア活動など、女性の社会参加が拡大されてきております。自己形成のための学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動にも配慮してまいります。

### 千里大学

千里大学につきましては、本科・研修科・大学院にて、それぞれ意欲的に学習活動が続けておりますが、大学院を卒業される皆さんや同窓生の皆さんより、引き続き学習活動をこの声もあるところから、新たに「専修科」を開設することとしております。

また、本大学の校歌についても、この度、同窓の方や地元ゆかりのある方の協力のもと、制定いたしましたので、千里大学の愛唱歌として親しんでいただければと思います。



千里大学の授業



文化発表会

### 芸術文化の振興

次に、芸術文化の振興ですが、生活水準の向上や余暇時間の増大に伴い、心の豊かさを求め、趣味の学習や文化活動に対する関心が高まってきているところから、町民の芸術文化に触れる場の提供と、文化協会を中心とした団体・サークルの支援を行ってまいります。

### 公民館事業

総合福祉センターの図書室については、好まれる図書の充実に配慮するとともに、各地域への移動図書も定期的に実施して、本に親

しむ機会の提供に努めます。また、公民館分館事業についても、それぞれ地域の特色を生かした活動を進めておりますが、子ども達の週5日制にも対応した取り組みに配慮いたします。

### 郷土資料の展示収集

時代を伝える郷土資料ですが、高齢者研修センターの2階に展示を終え、4月から一般に開放いたしますが、貴重な資料も多いことから、皆さんにはご不便をおかけしますが、通常は施設をさせていただきます。連絡のもと開設することで考えておりますのでご理解願います。

また、資料の計画収集も行いますので、町民皆さんのご協力を願います。

### 体育スポーツの振興

次に、体育・スポーツの振興についてであります。町民が生涯にわたり健康で活力ある暮らしを営むことができるよう、日常生活の中にスポーツを柱として、体育指導委員協議会や体育

協会関係団体などの連携および協力をいただきながら取り組んでまいります。

このため、引き続き各種スポーツ教室やスポーツ大会を進めるとともに、地域でのスポーツの普及のため学校体育施設の開放にも配慮いたします。

また、町民大運動会に替わる事業として、町民一人ひとりの体力に合わせた中で、保健と体育部門が連携して実施しました、ヘルシーフェスタにつきましては、本年度も参加促進に努め、日常生活のスポーツの定着に意を尽くしてまいります。



ヘルシーフェスタ



ジュニアカーリングチーム「ナイツ」

本町のスポーツの顔でありますカーリングにつきましては、少年団から一般まで幅広く普及されてきており、シーズンには、連日のように空知川スポーツリンクスでストーンのスラ音の響いております。

このような中、1月に長野県で開催されました日本ジュニア選手権大会で、本町から出場した男子チーム「ナイツ」が、見事2年振り2度目の「日本一」に輝きました。世界選手権大会への出場は、アジア・オセアニアブロック大会での優勝が条件とのことですが、その偉業達成に心から讃え

たいと思います。

以上、平成16年度の教育行政の執行に対する方針を申し上げますが、教育委員会としましては、課せられた使命や責任を深く認識して、町民皆様の負託にこたえるため、町をはじめ教育関係者と相携えて最善の努力をしてまいりますので、議員の皆様並びに町民皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。